

○理工学部

本学部で取得できる教員免許状（VIII-1ページ参照）を取得するためには、以下の条件を満たす必要があります。

- 1) 基礎資格（学士の学位）を有していること
- 2) VIII-11ページ表1に示す、教職に関する科目を**26単位**修得していること
- 3) 表2に示す各教科の指導法に関する科目を**4単位**修得していること及びVIII-13～VIII-18ページ表3に示す教科に関する科目を**31単位**修得していること（**計35単位以上**）
- 4) 教養教育科目で開講している、下記の単位を修得していること（**計8単位**）
 - 「憲法」2単位 「健康・スポーツA」1単位 「健康・スポーツB」又は「健康・スポーツC」1単位
 - 「英語コミュニケーションI」1単位 「英語コミュニケーションII」1単位 「情報基礎A」2単位

詳細については、**1年次前期に開講する「教職入門」で教育職員免許状を取得するためのガイダンスを行います。免許取得希望者は必ず「教職入門」を履修してください。**なお1年次前期に「教職入門」を履修できない学生は、学生センターA棟④番窓口（学務課）に相談してください。

※教員免許状に関する問い合わせ先は、学生センターA棟④番窓口（学務課）です。

表1. 教職に関する科目及び修得すべき単位数

免許法上の区分	免許法施行規則に規定される科目	授業科目名 ※注1	修得すべき単位数 (合計26単位)				履修年次	開講期
			数学	理科	情報	工業 ※注4		
教育の基礎的理解に関する科目	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。） ※「（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）」を含む。	教職入門	2	2	2	2	1	前期
	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 ※「教育に関する社会的、制度的又は経営的事項」を含む。 ※「（チーム学校運営への対応を含む。）」を含む。	教育概論	2	2	2	2	2～	前期
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育・学校心理学	2	2	2	2	1～	後期
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	教育法規 ※注2	2	2	2	2	2～	前期
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	学校経営・制度論 ※注2					2～	後期
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育	2	2	2	2	2～	前期
	総合的な探究の時間の指導法	総合的な学習の時間の理論と実践	2	2	2	2	2～	後期
	特別活動の指導法	特別活動の理論と方法	2	2	2	2	1～	後期
	教育の方法及び技術 ※「教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）」を含む。	教育課程・教育方法論	2	2	2	2	2～	前期
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	教育におけるICT活用法	1	1	1	1	3～	後期
	生徒指導の理論及び方法 進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	生徒指導・進路指導	2	2	2	2	1～	後期
教育実践に関する科目	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	教育相談	2	2	2	2	1～	後期
	教職実践演習（中・高）	教職実践演習	2	2	2	2	4	後期
	教育実習	教育実習（教育実習事前・事後指導1単位含む） ※注3	3	3	3	3	3～4	

表2. 各教科の指導法に関する科目及び修得すべき単位数

免許法上の区分	免許法施行規則に規定される科目	授業科目名 ※注1	修得すべき単位数 (合計4単位)				履修年次	開講期
			数学	理科	情報	工業 ※注4		
教科の指導法に関する科目	各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	数学科教育法 I	2	—	—	—	2~	前期
		数学科教育法 II	2	—	—	—	2~	後期
		理科教育法 I	—	2	—	—	2~	前期
		理科教育法 II	—	2	—	—	2~	後期
		情報教育法 I	—	—	2	—	2~	前期
		情報教育法 II	—	—	2	—	2~	後期
		工業教育法 I	—	—	—	2	2~	前期
		工業教育法 II	—	—	—	2	2~	後期

注1 **・理工学部在籍時に、理工学部で開設している科目で必要単位を取得してください。**
・隔年開講又は専門科目(必修)と開講時期が重なる等で履修できない場合は、次年度以降に履修して単位を取得してください。

注2 「教育法規」又は「学校経営・制度論」から1科目を選択履修してください。

注3 教育実習については、ガイダンスを3年次の5月頃におこないますが、特に以下のことに注意してください。

(1) 教育実習ができる条件について(下記1~5を全て満たしている必要があります)

- 1) 卒業見込みの者(研究室に配属されていること)
- 2) 教職に関する科目の単位の1/2以上(13単位)を修得していること
- 3) 教科に関する科目の単位の1/2以上(16単位)を修得していること
- 4) 実習で実施する教科の教育法を2単位以上修得していること
- 5) 「生徒指導・進路指導」又は「教育相談」の単位を修得していること
 * ただし、編入学生には適用しません。

(2) 実習校及び実習期間について

実習校は、原則として各自の出身校とします。実習期間は2週間で、例年6月~9月の予定ですが、実習校の事情により多少の変更もあります。

3年次の7月頃に、大学から実習校への依頼書を配付し、夏期休業中に実習予定者自身が持参して内諾をもらう必要がありますが、受け入れ人数に制限があり受け入れを断られる場合もあるので、2年次の終わり頃など、早めに出身校と連絡を取って確認してください。

(3) 事前・事後指導について

教育実習は、実習の他に事前指導(3年次・4年次)と事後指導(4年次)を必ず受けなければなりません。日程は掲示でお知らせしますので、注意してください。

注4 「工業」の免許状における教職に関する科目の26単位及び教科の指導法に関する科目の4単位の計30単位については、全部又は一部を教科に関する科目(工業)で代替することができます。ただし、コースによっては履修すべき単位(職業指導を除き59単位)に不足することもありますので、その場合は、学生センターA棟④番窓口(学務課)に相談してください。

理工学科 【情報】

知能情報コース、クリエイティブ情報コース

科目区分	開設授業科目	単位数	開設コース等☆	修得すべき単位数	合計 31
情報社会（職業に関する内容を含む。）・情報倫理	○ <u>情報社会と倫理</u> セキュリティとプライバシー ○ <u>情報職業論</u>	2 2 1	教育学部開設科目 ☆	1以上	
コンピュータ・情報処理	信号処理 ディジタル回路設計 ○ <u>オペレーティングシステム</u> 数理計画法 コンパイラ ○ <u>プログラミング言語及び演習 I</u> ○ <u>プログラミング言語及び演習 II</u> ○ データ構造とアルゴリズム ハードウェア設計及び演習	2 2 2 2 2 2 2 2 2	☆	1以上	
情報システム	○ <u>データベース</u> ロボティクス ○ <u>ソフトウェア構成論</u> ○ <u>ソフトウェア設計及び演習</u> ○ <u>システム創成プロジェクト</u>	2 2 2 2 2	☆	1以上	
情報通信ネットワーク	○ <u>コンピュータネットワーク</u> ディジタル通信 ○ ネットワーク実験	2 2 1	☆	1以上	
マルチメディア表現・ マルチメディア技術	画像処理とパターン認識 ○ <u>メディアシステム</u> ヒューマンインターフェース コンピュータグラフィックス 情報デザイン I	2 2 2 2 2	☆	1以上	

○印科目は、科目区分ごとの必修科目を示す。

・下線付きの授業科目は、一般的包括的内容を含む科目。

☆各コース教育課程表備考欄に示されている科目区分(VIII-19ページ表4参照)を確認し、開設コースで受講してください。

理工学科 【工業】

数理・物理コース、材料科学コース、電気電子・情報通信コース、機械知能航空コース、社会基盤・環境工学コース

科目区分	開設授業科目	単位数	開設コース等☆	修得すべき単位数
職業指導	○ 職業指導	2	理工学科	2
工業	△ 材料組織学 I	2		
	△ 電気回路学	2		
	材料計測学	2		
	誘電体材料学	2		
	半導体理工学	2		
	半導体デバイス工学	2		
	△ 材料力学	2		
	△ 材料物理化学 II	2		
	材料組織学 II	2		
	金属構造材料学	2		
	△ 材料強度学	2		
	△ 工業材料学	2		
	接合工学	2		
	反応工学	2		
	製錬工学	2		
	鋳造材料学	2		
	複合材料学	2		
	生体材料学	2		
	非鉄金属材料学	2		
	電子デバイス工学 I	2		
	電子デバイス工学 II	2		
	半導体LSI工学	2		
	△ 電気回路論 I	2		
	△ 電気回路論 II	2		
	△ 電気回路論 III	2		
	△ 電磁気学 I	2		
	△ 電磁気学 II	2		
	電磁波工学	2		
	電子材料物性学	2		
	アナログ電子回路	2		
	応用電子回路	2		
	電気電子計測学	2		
	通信システム	2		
	制御システム工学	2		
	光エレクトロニクス	2		
	エネルギー変換工学	2		
	電気機器工学	2		
	高電圧プラズマ工学	2		
	発電工学	2		
	送配電工学	2		
	組込ソフトウェア実習	1		
	組込ハードウェア実習	1		
	電気電子・情報通信工学特別講義	2		
	電気設計製図	2		
	精密工学	2		
	トライボロジー	2		
	△ 機械製図 I	1		
	△ CAD実習	1		
	材料力学 I	2		
	機械材料学 I	2		
	流体力学	2		
	△ 機械製図 II	1		
	機械加工学	2		
	機械力学	2		
	熱力学	2		
	制御工学	2		
	機械設計学	2		
	材料力学 II	2		
	粘性流体工学	2		

☆

合計
29 31

固体力学	2			
伝熱工学	2			
燃焼工学	2			
生体工学	2			
センシング工学	2			
航空流体工学	2			
機械材料学 II	1			
ロボティクス工学	2			
航空宇宙システム工学	1			
△ 测量学	2			
△ 環境工学	2			
測量学実習 I	1			
測量学実習 II	1			
鋼構造学	2			
コンクリート工学	2			
鉄筋コンクリート工学	2			
道路工学	2			
施設維持管理工学	2			
水工学	2			
岩盤力学	2			
都市計画学	2			
交通計画学	2			
公共政策学	2			
上下水道工学	2			
土壤環境工学	2			
生態環境保全学	2			
資源循環工学	2			
設計製図	1			

☆

○印科目は、科目区分ごとの必修科目を示す。

△印科目は、当該科目区分の選択必修科目を示す。（△印から 1 科目 1 単位以上修得すること）

・下線付きの授業科目は、一般的包括的内容を含む科目。

☆各コース教育課程表備考欄に示されている科目区分(VIII-19ページ表4参照)を確認し、開設コースで受講してください。

※他コースの開設科目を履修する場合は、設備等の関係で受け入れできない場合もありますので、担任及び科目担当教員と必ず相談してから受講してください。

表4. 教科に関する科目 科目区分一覧

※教育課程表の備考欄に表示する略語

教科名	科目区分	※略語
数学	代数学	代
	幾何学	幾
	解析学	解
	「確率論、統計学」	確
	コンピュータ	コ
理科	物理学	物
	化学	化
	生物学	生
	地学	地
	「物理学実験、化学実験、生物学実験、地学実験」	
情報	情報社会（職業に関する内容を含む）・情報倫理	情社
	コンピュータ・情報処理	情コ
	情報システム	情シ
	情報通信ネットワーク	情ネ
	マルチメディア表現・マルチメディア技術	情マ
工業	工業の関係科目	工
	職業指導	